

「平成の終わりに食の未来を語ろう」

シンポジウム概要

【開会挨拶】13:30

【基調講演】

木下政人氏(京都大学大学院農学研究科助教)

「ゲノム編集技術がもたらす水産物・養殖業の未来」

阿古真理氏(作家・生活史研究家)

「多様性、もしくは貧困」

【リレートーク】

大久保朱夏氏(フードライター／食のクリエイター)

「認知症にやさしい食環境づくりとは」

草間壽子氏(在来作物応援チーム「伝統野菜プロジェクト」代表)

「伝統野菜がもたらす多様性を未来へ」

小池理雄氏(小池精米店三代目、五ツ星お米マスター)

「お米は古くて新しい食糧 無限に広がるその可能性とこれからの担い手の問題」

三保谷智子氏(『栄養と料理』元編集長、元編集委員)

「残したい料理レシピの言葉」

村井康人氏(REBIRTH食育研究所代表、フードバンクにいがた評議員)

「子ども食堂から見た食育と子どもの貧困」

森田満樹氏(FOOD COMMUNICATION COMPASS代表)

「消費者に科学的根拠に基づく食情報を伝えるために」

【クロスディスカッション】

コーディネーター 小島正美(JFJ代表幹事)

モデレーター 小山伸二(辻調グループ メディアプロデューサー)

司会：村松 真貴子(元NHKキャスター、フリーアナウンサー、エッセイスト)

食生活ジャーナリストの会／第28回公開シンポジウム

2018 **11/17** (SAT)
東京ウィメンズプラザホール



お申込み <https://goo.gl/forms/f4Tu08SZ385fwelq2>

一般2,000円、学生1,000円
(JFJ会員は無料)